

工事費内訳書の記載例（２）

総合評価落札方式(簡易型) の場合

(入札金額:960, 000, 000円)

(技術提案実施に必要な経費;10, 000, 000円)

(工事費内訳書の記載例)【簡易型】

工事名: 22□□□ 第〇〇号 △△△△△工事(□工区)

工種/種別/細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費					
基礎工				668,900,000	
真空圧密ドレーン工 改良長11m	本	13,402.0	20,000	629,080,000	
深層混合処理工 二軸φ1000mm	本	1,092.0	120,000	268,040,000	
高圧噴射攪拌工 造成長15m φ2500mm	本	100.0	2,300,000	131,040,000	
土工				230,000,000	
流用土 トンネル工事発生土流用	m3	7,300.0	150	39,820,000	
流用土 地盤改良土流用	m3	7,700.0	150	1,095,000	
購入土 路床	m3	3,300.0	1,500	1,155,000	
購入土 路体	m3	23,300.0	1,400	4,950,000	
土工				32,620,000	
直接工事費				668,900,000	
共通仮設費率分	式	1.0		50,000,000	
技術管理費	式	1.0		5,000,000	
共通仮設費計				55,000,000	
純工事費				723,900,000	
現場管理費	式	1.0		150,000,000	
工事原価				873,900,000	
一般管理費	式	1.0		76,100,000	
工事価格				950,000,000	
技術提案実施に必要な経費				10,000,000	
合計				960,000,000	

・「技術提案実施に必要な経費」欄は設けない。

・各工種の金額には、技術提案の実施費用を含まない金額を記載する。

・共通仮設費や技術管理費に該当する技術提案があっても、技術提案分を含まない金額を記載する。

・工事金額の合計(技術提案部分の金額以外)を計上する。

・技術提案の実施に必要な経費の合計額を計上する。

・工事価格と技術提案実施経費の合計額を入札額と一致させる。

数量総括表に記載のない共通仮設費以下の部分については、1式表示と%表示のどちらでも構わない。

端数処理は、共通仮設費や現場管理費や一般管理費で行うこと。